

第56号



南円山連合町内会シンボルマーク

南円山ふれあいだより

緑丘小学校 70周年を祝う会

7月10日（木）、開校70周年を祝う児童が企画した集会在、約30名の地域関係者も参加のもと開催されました。

会場には全校児童の手形と一人ひとりのメッセージが飾られお祝いモード一色でした。70年の歩みをスライドで見たり、1年生から6年生、それと特別支援学級が歌や踊りを発表したりして緑丘小70歳をお祝いしました。最後に校歌を合唱し、全校で記念撮影して、心温まる時間はあっという間に過ぎていきました。

緑丘小学校がこれからも末永く、この地で子どもたちの心のふるさとであり続けることを願っています。



中央区PTA連合会 活動紹介

みなさん、区P連ってご存じですか？ 区P連は、市内各地で組織している、PTA連合会の愛称です。中央区PTA連合会では、特に地域のPTA会員と児童生徒の「広がり・つながり・学びあい」に力を入れて活動しています。

本年度も、区内の公立幼稚園、小中学校の保護者と先生による勉強会や情報、意見交換を元に、子どもたちのための話し合いやイベントの企画開催に取り組んでいます。

今後とも、地域と学校をつなぐ活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※詳しくは「札幌市中央区PTA連合会」のホームページをご覧ください。



ちびっこサマーランド

8月4日（月）、旭山公園通地区センターにおいて、「親子で集まろう！ちびっこサマーランド」が開催され、乳幼児から小学校低学年までの子どもたちと保護者、また中学生を含むボランティアなど、約三百名が参加しました。

このイベントは、地域住民の交流及び世代を超えた親子・高齢者など遊びを通してふれあう世代間交流を目的に、南円山地



受賞おめでとう ございます

〇札幌市中央区長表彰

町内会役員として、地域の発展向上に寄与された功労に対して、感謝状が贈呈されました。

令和6年度
湊 和久様



令和7年度
北川 正和様
佐藤 啓子様



編集後記

防災の日の由来と目的

防災の日とは、台風、豪雨、地震、津波などの自然災害に対する認識を深め備えを促すために、毎年9月1日に設けられた日です。

・由来 一九三三年（大正12年）9月1日に発生し、甚大な被害をもたらした関東大震災に由来しています。この震災の記憶を風化させず、防災意識を高めるために設定されました。

・目的 国民一人ひとりが、自然災害に対する心構えを準備し、被害を軽減することを目的としています。毎年この「防災の日」である、9月1日を含む8月30日から9月5日までの一週間を防災週間とし全国各地で防災訓練が行われています。

「南円山ふれあいだより」

発行 南円山地区福祉のまち推進センター
協賛 南円山連合町内会
編集委員長 土屋公保
編集委員 藤井 恵・高橋智美
協力 南円山まちづくりセンター
所長 洞野昌史

南円山会館 南9西21・11
電話 561-2472



び、「さかな釣り」などのコーナー、和室には「赤ちゃんコーナー」が設けられ、啓明中学校の生徒や地域のボランティアの人たちと交流を深めました。

会場には中央区のマスコットキャラクター「中ウオーくん」と札幌市社協のイメージキャラクター「まもりん」も現れて、子どもたちと楽しい時間を過ごしました。





子育てサロン

今年度の子育てサロンは、初めて会場を移し、緑丘小学校で行っています。初回7月のサロンでは、3年生の教室におじゃまして授業を見学させてもらったり、休み時間に大勢の児童と一緒に遊んでくれるなど、小学生と良い交流ができました。参加者からも好評で、幼稚園は見学することはありませんが、小学校はなかなか機会が無いので貴重な体験だったようです。10月も開催するので是非遊びにきてください。



敬老の日

9月15日（月・祝）の敬老の日にあたり、南円山地区福祉のまち推進センターの事業として、80歳以上の方約一千名に記念品を進呈しました。ご長寿おめでとうございます。いつまでも元気でお過ごしください。この敬老事業は、地域の見守りや交流の機会となっています。各町内会の役員や民生委員などが、お祝い文と記念品のお茶をお届けしました。

7月1日（火）、南円山会館において、「南円山地区の安全・安心なまちづくりを考える会」総会及び研修会が開催され、地域の学校や町内会関係者、青少年育成委員など約30名が参加しました。研修会では、札幌市市民文化局区政課の鈴木地域防犯担当係長を講師として、「犯罪被害を防ぐく子どもの防犯教室」をテーマに実施しました。講義では、子どもに対する前兆事案（声かけ、つきまといなど）は、約8割が平日に発生し、特に児童が帰宅・放課後遊びに行く時間帯に多く発生するとの話がありました。地域の犯罪発生状況を速やかに把握するためにも、是非防犯メール等の登録をしてほしいとのこと。北海道警察公式の防犯アプリとして「ほくとポリス」というアプリがあります。



また、地域で防犯パトロールを行ううえでの活動上のポイントとして、誰でも入りやすいく外から見えにくい場所、例えば公園のトイレやマンシヨンの駐車場などは特にパトロールが重要な場所とのことでした。今後とも地域の安全・安心なまちづくりに向けて、取組を進めていくことを確認しました。

南円山地区の安全・安心なまちづくりを考える会を開催



交通安全街頭啓発

南円山地区では、毎年、春夏・秋の3回、菊水・旭山公園通（南9条通）の南円山会館前にて交通安全街頭啓発を行っています。

啓発は、南円山交通安全運動実践会、交通安全指導員会、交通安全母の会の主催により、各町内会の皆さんをはじめ、西警察署、西交通安全協会、



緑ヶ丘小学校PTA、中央区交通安全運動推進委員会など毎回50名ほど参加者が手旗を振り、ドライバーや歩行者などに交通安全を呼びかけます。また、11月には南円山会館において、交通安全に関する講習会を開催して交通安全意欲の向上をめざしています。



南円山地区福祉のまち推進センター 研修会を開催

7月15日（火）、南円山会館において、福祉のまち推進センター研修会を開催し、福祉推進員など約30名が参加しました。

今回は、「ほっかいどう希望大使（認知症本人大使）」の松本健太郎氏、砂川市立病院認知症疾患医療センター精神保健福祉士（ほっかいどう希望大使公認支援者）の大辻誠司氏を講師として、「認知症はミ



ステリー？ 私のこれまでのストーリーとこれからのセカンドストーリーを語る認知シヨ」をテーマに実施しました。松本氏は会社で営業として働いていた48歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断されました。2024年4月に北海道から希望大使に任命され、自身の経験を踏まえた認知症理解の普及啓発活動等を行っているとのこと。松本さんは自覚症状が出てから病院を受診するまで7年の期間との要したとのこと。早期受診の重要性を訴えました。現在は、家族や職場の理解を得て、生活上の様々な工夫をこらしながら、同じ会社で働いているとのこと。研修を通じて認知症への正しい理解と周りのサポートの重要性について改めて学ぶことができました。